

## 学校機能評価委員会報告

本委員会では「学校機能評価規程」に基づき活動を行ってきた。この数年で自己点検評価と学校関係者評価委員会を軸に、年間の PDCA サイクルが回るようになり、教育の質向上・業務改善に結びつけている。

### 1. 学校機能評価委員会の取り組み

- (1) 学校関係者評価委員会（6月）を実施して外部委員の方々との意見交換を行った。学校関係者評価委員会報告については別途報告書をまとめ公開している。
- (2) 2021年度の重点項目と担当者を決めて改善に取り組んだ。前期終了後に進捗状況の確認を行い、年度末に各担当者が取り組み状況報告書を作成することにより成果を検証したので以下に記載する。

### 2. 2021年度重点項目への取り組み成果

#### (1) 入学者増

学校認知度の向上を図るため、各種 SNS で定期的な情報発信や、イベント等、地域貢献事業を推進した。また高校との連携を図るため、高校訪問や連携講座、高校ガイダンス等へ参加した。

コロナ禍が長期化し、対面形式が制限されるなかで、高校生や保護者のニーズに合わせた情報発信をいかにタイムリーかつスムーズに実施するか、さらなる検討が必要である。

#### (2) 国家試験合格率 100%達成、国家試験対策教育の充実

4年生へは早期から学習開始できるよう学習ソフトや動画コンテンツを活用した国家試験勉強を導入した。また1～3年生の低学年へも e-Learning を活用した国家試験勉強を導入し、全学年で1年間継続して取り組めた。

学習環境の整備、e-Learning の活用、参考書や模擬試験等、学習コンテンツの選定は適切に行えた。

第57回国家試験では、OT 学科は 12/16 名（75.0%）、PT 学科は名 22/28 名（78.6%）であった。次年度に向けて改善計画に基づき、合格率 100%を目指す。

#### (3) 遠隔授業に向けたハード面の充実

遠隔授業に必要な ICT 機器を導入した。各教室に液晶ディスプレイを配置

し、大教室では複数モニターを配置することで学生の視認性の向上を図った。授業用の PC はすべてカメラ付き PC へ更新した。また WEB カメラ、好感度マイク、ビデオカメラを導入し、遠隔授業に適する環境を作ることができた。

#### (4) 入学者増

コロナ禍にあり、臨時休業時や遠隔授業時は実施できなかったが、対面授業の再開と同時に各種 SNS にて定期的な情報発信を行った。

コロナ禍でもできる広報活動を継続しつつ、脱コロナ後の学生募集活動を視野に入れ、高校生や保護者に対し、業界内や就職などに関して正しい情報を積極的に発信する必要がある。

以上

2022 年 3 月